

□議員名：矢田松夫

1 厚狭図書館の利便性について

論点	本が焼けるということで、一日中ブラインドで光を遮っている実態をどう思うか。
回答	ワークショップ委員会での意見は「南東向き」となっていたが、なぜ南向きになったのか承知していない。現状でも、職員から不都合があると聞いていない。

論点	自然な光の中で読書をするコンセプトだが、支障があれば植栽をするとかレイアウトを変更されるのか。
回答	何か支障があるものが出てくれば、その時点で検討をしなければならないと思っている。

2 図書館資料の処分は適正だったのか。

論点	なぜ約2万5,000冊を焼却処分したのか。
回答	焼却処分したのではなく、市環境衛生センターの紙資源リサイクル置場へ運び込んだ。

論点	リサイクル処分をした一番の理由は何か。
回答	大量処分をしたのは、キャパシティーがきっかけである。

論点	ワークショップ委員会や図書館友の会から、蔵書の開架スペースの増床を求めたが、約100㎡は焼け石に水だった。市民の財産をこのような処分結果になったことの感想は。
回答	大変申し訳ないことをした。希望をする市民や各公民館での再活用など思いつかなかった。もったいないことをしたと深く反省している。

論点	廃棄処理をされた根拠はどこにあるのか。施行規則があるのか。
回答	市図書館除籍基準があるが、条例規則はない。

論点	廃棄の基準、選別、除籍について館長から相談があったのか。
回答	何冊廃棄をしたとか、どのような廃棄の方法をしたのか相談はなかった。

論点	図書館資料は備品であるが、返納時に管財課長との手続はどうされたのか。
回答	リサイクル処分をした数が約2万8,679冊。これは書面上のやりとりで、内容の調査、確認はしていない。まことに申し訳ないが承知していない。

論点	図書資料の除籍後の対応については、今後どうされるのか。
回答	除籍対象となった図書資料については、全て譲渡会をする。

論点	厚狭図書館のパネルはどこに保管されているのか。
回答	一部は埴生公民館にあるが、他のパネルはどこに保管されているか理由も承知していない。

3 副市長の任命について

論点	市長12年間の在任中、6年間は副市長不在であったが、財政上の問題で配置しなかったのか。
回答	一番大きな理由は、何ととっても1,000万、900万あればたくさんの事業を手掛けることができる。